

唐津の祭り⑦浮立(1/3)

分野 文化

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

佐賀県には浮立と呼ばれる民俗芸能がほぼ全県にわたり分布している。笛・大太鼓・締め太鼓・鉦などを持って囃し、その囃子にあわせて演ずる芸能を浮立と呼ぶ。天衝舞、舞浮立などその種類は十数種に及び、それぞれ特色を持ち伝承されていたが、廃絶したものも少なくない。

いずれも厳格な神事で、神社前で先ず「浮立舞」を奉納する。「浮立面」という独特の仮面をかぶり手拭いで口を覆う。最後に登場するのが「天衝舞」で、重い「天衝」を頭につけ激しい動きで上下左右に揺り動かしながら舞う姿は迫力がある。佐賀市堀江神社が起源とされる。

■星領浮立

例年旧暦8月15日、藤原神社の秋祭りとして奉納される。

天衝（てんつく）と呼ばれる大きな三日月型の冠を額に付け、囃子に合わせて、太鼓を叩きながら舞い踊る。主役を演じるのは子どもで、囃子の鉦や笛も同様。

祭の最中には鬼面をかぶった鬼が現れ、幼児を泣かせて無病息災を祈願する。

なお、「星領浮立」は、市の重要無形民俗文化財に指定されている。

【場所】唐津市厳木町星領（藤原神社境内）

【開催日】9月第2週の土曜日

【問い合わせ】星領浮立保存会 0955（65）2001

■鳥巢浮立

五穀豊穡、天下安泰を氏神に感謝して、浜玉町鳥巢地区の男子全員が参加する、地区を代表する祭り。天衝（てんつく）という大きな三日月型をした冠をかぶった舞人が、太鼓や鼓に合わせて舞を披露する。

【場所】唐津市浜玉町鳥巢（鳥巢神社）

【開催日】旧暦8月25日（10月中旬）

【問い合わせ】唐津観光協会浜玉支所 0955（56）6937

～2/3へつづく～



星領浮立



星領浮立「演者の表情」



鳥巢浮立「舞」



鳥巢浮立「太鼓」

（唐津市フォトライブラリーより）

◎引用・参考文献（出典）

- ◆唐津市フォトライブラリー
- ◆『厳木町史上巻』（平成19年発行）
- ◆『祭の古代史を歩く』（1999年彩流社 竹内淳夫）

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html

唐津の祭り⑦浮立(2/3)

分野 文化

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

～1/3からつづく～

■広瀬浮立

県内では例を見ない武家風の所作を今に伝える民俗芸能で、男衆のみで祭りが行われる。

浮立行列の一行は、参道を横笛、鉦、小太鼓、大太鼓をもって曲を奏しながら道行する。楽器役は袴（かみしも）を装い、三の鳥居から拝殿に向かう参道道では鳥居ごとに止まり、「ねじり囃子」という曲を奏しながら鼓役が足袋姿で舞を奉納する。

また、昔からの伝統で、男衆たちは「ドジョウ汁」を食べてから道行に出発する。ドジョウが少なくなり、20年ほどはみそ汁で代用していたが、2010年から地元民の熱意によって復活し、神と人との『共同飲食』を通じて、強い絆が戻ってきている。

なお、広瀬浮立はあくまで神事芸能であるため、娯楽的要素はない。県指定重要無形文化財。

【開催日時】9月15日に近い日曜日

【場所】唐津市厳木町広瀬

【問い合わせ】唐津市厳木支所産業課 0955（53）7115

～3/3へつづく～



広瀬浮立「太鼓」



広瀬浮立「舞」



広瀬浮立「道行」

(唐津市フォトライブラリーより)

◎引用・参考文献（出典）

- ◆唐津市フォトライブラリー
- ◆『厳木町史上巻』
(平成19年発行)
- ◆『祭の古代史を歩く』
(1999年彩流社
竹内淳夫)

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html

唐津の祭り⑦浮立(3/3)

分野 文化

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

～2/3からつづく～

■天川天衝舞浮立(あまかわてんつくまいふりゅう)

毎年9月23日(秋分の日)に行われる、宮地嶽神社上宮にあたる若宮神社に鉦や太鼓などで囃し立てられた中で踊りを奉納する神事芸能。

月と太陽を模った「テンジク」と呼ばれる前立てを頭上に載せ、太鼓を打ちながら舞を披露する。もとは江戸時代に「雨乞い」の儀式としてはじまったといわれている。

若宮神社の祭神は応神天皇で、社殿の創建は文明2(1740)年と伝えられている。

若宮神社までの道行き行列が女性に会うことをタブーとしていることと、神社の鳥居前で、太鼓打ちが天衝の冠りものを着けるのが他地区とは異なる。

【場所】唐津市巖木町天川

【開催日】9月23日(秋分の日)

【問い合わせ】唐津市巖木支所産業課 0955(53)7115

■大屋敷浮立

未婚の少年による天衝舞の前には、美しい装束をまとった少女たちによる華やかな舞が奉納される。総戸数20戸足らずの集落ながら伝統がしっかり伝承されている。

【場所】唐津市七山秘密天満宮

【開催日】旧暦8月25日



天川天衝舞浮立「舞」



天川天衝舞浮立「道行」
(唐津市フォトライブラリーより)



七山大屋敷浮立「お囃子」(鼓、笛、鐘)



七山大屋敷浮立「主役と鬼の舞」
(唐津市議会議員 平野じゅんじ氏HPより)

◎引用・参考文献(出典)

- ◆唐津市フォトライブラリー
- ◆『巖木町史上巻』
(平成19年発行)
- ◆『祭の古代史を歩く』
(1999年彩流社
竹内淳夫)

◎エピソード・伝承・うんちく など

■天衝舞とアラビアの関係

天を衝くような形は、角ではなくて、「三日月」で中心の丸は「太陽」を表している。

■天衝舞の舞子が腰に刀とごさを結びつけているのは何故?

もし失敗すると、ごさを敷き、そこで切腹しなければならなかった、と言われている。あんなに重くそびえるように高い冠を被り飛んだり跳ねたり、それに失敗すると切腹とは、何と非情な!

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話: 0955-72-3467

■ホームページ:
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html